

令和4年度 第72次 印旛地区教育研究会 安全教育分科会（紙上提案資料）

### 1. 研究主題

子どもたちを交通事故から守るにはどうしたらよいだろうか  
～四街道西中学校区における登下校時の交通安全に関する取り組みを通して～

### 2. 主題設定の理由

四街道西中学校区は、JR四街道駅から東関東自動車道を跨ぎ下志津原まで伸びる広い学区を有する。また、千葉市と隣接したり、東関東自動車道千葉北IC、国道16号線とも近い距離にあたりすることから、抜け道として利用するドライバーが多い。そのため、通学路の交通量が多く交通安全の確保は中学校区の大きな課題となっている。特に危険な通学路は、四街道小学校から大日小学校までを結ぶ狭い生活道路である。数年前には、死亡事故が発生したことがある。

そこで、登下校時の交通安全の取り組みを強化し、交通事故を減らすために本主題を設定したものである。

### 3. 研究仮説

- ・交通ルールやマナーの意義や理由について考えさせれば、児童生徒の安全意識が高まり事故を防げるだろう。
- ・登下校時に地域・家庭と連携した安全対策をすれば、地域の安全意識が高まり事故を防げるだろう。

### 4. 研究の内容

#### 【交通ルールやマナーに関する各校の取り組み】

#### （四街道小学校）

- ・毎年5月に1年生・3年生・5年生を対象に、四街道警察署や市役所と連携した交通安全教室を実施している。
- ・毎週木曜日の下校時、職員による交通安全指導を行い、道路の1列歩行を指導している。
- ・学期初めに、通学路危険箇所において職員による交通安全指導を実施。手挙げ横断や1列歩行を中心に指導している。
- ・通学路危険箇所の追加や危険な通学路を通過する人数の抑制している。
- ・通学路の一部変更を実施している。

#### （大日小学校）

- ・毎年5月に、四街道警察署・市役所と連携して交通安全教室を行っている。1年生は歩行訓練、3、5年生は自転車訓練を実施している。他の学年に関しては、映像教材を使い、交通安全を指導している。
- ・学期初めに、通学路の危険箇所に行き、児童の登校中の安全を確保しながら、安全な歩行・横断のしかたを現場で指導している。

#### （四街道西中学校）

- ・毎年年度初めに、新入生に向けた交通安全教室を開き、四街道警察署の方を招いている。
- ・学期初めには、自転車通学者を対象にした自転車点検を実施し、自転車の乗り方や交通ルールを確認している。
- ・定期テスト期間のような早帰りの日程では、教員による校外指導パトロールを実施している。

**【登下校時における地域・家庭との連携】**

(四街道小学校)

- ・ 県の交通安全見守り隊，PTA と連携した朝の交通安全指導の実施している。
- ・ 毎月初めの3日間，PTA による登校時の交通安全補導を実施している。
- ・ 毎日，地域の交通安全見守り隊による交通安全補導を行っている。
- ・ 毎月，定期的に放課後の地区パトロールを地域と共に実施している。

(大日小学校)

- ・ 年度初めに，PTA の校外指導部の方と連携して，通学路の危険箇所を確認している。
- ・ 学期ごとに地区児童会を行い，児童同士で通学路の危険箇所，登下校の仕方についての指導を行っている。

**5. 成果と課題**

**【成果】**

- ・ 地域の方々，職員の交通安全指導の実施をとおして，児童生徒の交通安全意識は高まり道路の1列歩行を意識しようとする姿が見られてきた。
- ・ 自転車の左側通行等の交通ルールを意識している児童生徒が見られた。

**【課題】**

- ・ 通学路全体の様子を实地調査し，更なる危険箇所の把握に努めなければならない。
- ・ 大人が見ていない所でも，交通ルールを守り下校することができるように，交通安全意識を高めるための手立てを考える必要がある。
- ・ 地域の交通安全意識を高める情報等の発信方法を検討する必要がある。

**【まとめ】**

中学校区の取り組みは，確実に成果を上げている。今後も継続して交通安全教育を進めていき，交通事故を減らしていく。また，これからも教職員が交通安全に関する知識・技能を高めしていくことが子どもたちへの指導に繋がっていく。